長洲小児童が荒尾地区代表として健闘

交通安全子供自転車熊本県大会

荒尾地区代表として大会に臨んだ長洲小の選手たち

（財）熊本県交通安全協会主催の「第44回交通安全子供自転車熊本県大会」は7月17日、熊本県運転免許センターで開かれました。

交通知識の習得などを図ることを目的として行われている大会には、県内23地区の代表校から約100人の児童が参加。安全走行、技能走行や交通知識のテストを行い、その総合得点を競いました。

長洲町からは、長洲小6年の松山朋紀くん、福田亜海さん、船崎優さん、増村悠生くんの4人が荒尾地区代表として出場。団体で総合9位、個人の部では増村くんが4位入賞を果たし、トロフィー、メダルと賞状が手渡されました。

竹又萌加さん（下東区）が九州大会出場

熊日学童五輪新体操　個人の部準優勝

九州大会の舞台で演技を披露した竹又さん

県体操協会と熊本日日新聞社主催の「第36回熊日学童五輪新体操」は7月17日、県立総合体育館で行われ、DCT新体操クラブに所属する長洲小6年の竹又萌加さん（下東区）が個人の部（種目別ロープ・リボン）で準優勝しました。

萌加さんは23日、指導者の児玉さんとともに町役場を訪問し、中逸町長に入賞の喜びを報告しました。

県大会での結果を受けて、8月15、16日に佐賀県立総合体育館で行われた九州小学生大会に出場した萌加さん。惜しくも入賞には届きませんでしたが、「今まで練習してきたことを精一杯出し切って、演技することができました」と大会を振り返りました。

親子でオリジナルの陶器づくりに挑戦

長洲有明ＬＣが「親子ふれあい陶芸教室」開催

世界に1つだけの作品を一緒に作る親子

長洲有明ライオンズクラブ（浦邊朝章会長）主催の「親子ふれあい陶芸教室」は8月1日、長洲町中央公民館で開かれました。

同教室は、ものづくりを通して親子のふれあいの時間を作ってもらおうと、町青少年育成町民会議（福田了栽会長）との共催で9年前から行われているものです。

同日は、児童や保護者32人が参加し、一先窯の山口耕三さん指導の下、皿、茶わんやカップづくりに挑戦しました。

初めて参加した腹赤小2年の吉田彩乃さんは「少し難しかったけど、お母さんと一緒にできて楽しかった。大好きなスイカとブドウを食べる時に使いたい」と笑顔をみせていました。

高野早紀さん（建浜区）全国に羽ばたく

全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会　標準記録突破

県大会で標準記録を上回り全国大会へ出場した高野さん

「第56回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会」は7月10、11の両日、熊本県民総合運動公園陸上競技場（KKWING）で開かれ、走り幅跳び共通女子に出場した長洲中2年の高野早紀さん（建浜区）が標準記録（5m30cm）を上回る5m44cmを記録し、全国大会への出場権を手にしました。

早紀さんは、8月20日から鳥取市の陸上競技場で開かれた「第37回全日本中学校陸上競技」に出場。惜しくも入賞には届きませんでしたが、全国の舞台で大きな活躍をみせました。

バレイアSC・U-15　全国大会出場

九州クラブユース（U-15）サッカー選手権大会で準優勝

全国大会へ出場したバレイアSC·U-15
（後列左から）田上辰徳コーチ、塩崎悟史くん、三小田宏輝くん、土田京介くん、（前列左から）永尾泰樹くん、本田涼馬くん、土田凌くん、田中諒くん

「九州クラブユース（U-15）サッカー選手権大会」は7月10日から24日まで（全日程5日間）長崎県、鹿児島県、福岡県で開催され、バレイアSC・U-15（高野内豊久監督）が準優勝を果たしました。

選手として出場した町内中学生7人は8月2日、町役場を訪問し、中逸町長に準優勝の喜びを報告しました。

同チームは、8月14日から福島県のJヴィレッジで開かれた「第25回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会」に出場。目標の決勝ラウンド進出は果たせませんでしたが、全国の強豪チーム相手に健闘しました。

もっと強くなるために

県少年柔道強化選手に町内から4人が選抜

認定書を手に中逸町長と。後列左から荒木くん、福川くん、前列左から犬塚さん、西尾さん

熊本県柔道協会が認定する少年柔道強化選手に選ばれた町内小学生4人は8月6日、中逸町長への報告のため町役場を訪れました。

今年度強化選手として認定されたのは、6年生男子重量級・福川海斗くん（葛輪区）、5年生女子軽量級・犬塚光咲さん（赤崎区）、4年生男子軽量級・荒木海輝くん（高田区）、同女子軽量級・西尾果連さん（腹赤区）。春に行われた県大会などで上位に入賞し、強化選手として認定された4人は現在、県内の他の選手たちと合同で合宿や練習などに参加しています。代表して6年生の福川くんは「合宿などを通じてもっと強くなりたい。次の大会では入賞できるように頑張ります」と意気込みを話していました。

小中学生が夢中でおもちゃづくり

光電池使用動くおもちゃ製作グランプリ

ソーラーパネルに光を当て、動きを確認する生徒たち

熊本県教育委員会などが主催する「光電池使用動くおもちゃ製作グランプリ」は8月6日、長洲小学校体育館で開かれ、小中学生が光電池（ソーラーパネル）を使ったおもちゃづくりに挑戦しました。

大会には、町内小中学校の児童と生徒約110人、36チームが参加。小学生はソーラーカー、中学生は初歩的作業ロボットを製作し、時間が経つのも忘れて夢中で取り組む子どもたちの姿が見られました。製作後は、作り上げたロボットや車でのレースなども開催され、会場は大いに盛り上がりをみせました。最優秀賞に選ばれたチームは次のとおりです。

小学生の部　ワンピース・犬夜叉（長洲小6年）
中学生の部　ゴッド・フェスティバル（腹栄中2年）

母乳で赤ちゃんを育てよう

ナースアウトin長洲2010

優しい歌声と音色に包まれたライブのひととき

「ナースアウトin長洲2010」（同実行委員会主催、長洲町後援）は8月6日、長洲町中央公民館で開かれ、約80組のお母さんと赤ちゃんが参加しました。

同活動は、母乳で子どもを育てることの重要性を社会にアピールしようと全国で行われているもの。会場では、全国の取り組みに合わせた午前11時からの1分間、一斉に赤ちゃんに授乳をするお母さんの姿が見られました。

また同日は、東海大学の片野學教授による講演会や玉名市在住の歌手・川原一紗さんと藤川潤司さんによるライブなども行われ、参加したお母さんたちは赤ちゃんと共に穏やかなひとときを過ごしていました。

子どもたちの元気な歌声が響き渡る

サマーコーラスin六栄

かわいい振り付けと元気いっぱいの歌声を披露する園児たち

六栄保育所（土山尚子所長、園児86人）の「サマーコーラスin六栄」は、8月12日、同保育所で開かれ、園児が元気いっぱいの歌声を保護者たちに披露しました。

同保育所では、日頃から園児たちに音楽に親しんでもらうための活動に力を入れており、成果発表の場として開催されているこの発表会は今年で4年目。

クラスごとに「夏の歌メドレー」「みどりのマーチ」「切手のないおくりもの」などの発表に続いて、「歌えバンバン」を園児全員で披露。会場に響き渡る元気な歌声に、保護者からは大きな拍手が送られていました。

腹栄中野球部が19年ぶり　有明地区の頂点に

有明地区中学校軟式野球大会

優勝に輝いた腹栄中野球部の選手たち

全日本軟式野球福岡県連盟大牟田支部などが主催する「第35回有明地区中学校軟式野球大会」は8月7日から9日まで、大牟田市や荒尾市などの球場で開かれ、腹栄中野球部（笠原一人監督、部員32人）が頂点に輝きました。

大会には、有明地区の32校が出場。決勝戦まで駒を進めた腹栄中は、荒尾海陽中と対戦し、19年ぶり2度目の優勝を手にしました。

この試合が最後となった主将の3年福田賢太朗くんは「心を一つにして試合に臨めたと思います。これまで指導してくださった先生方や応援してくれた家族に感謝したい」と話していました。

地域だより

下本区　環境美化作業

下本区内の樹木を剪定する区民

下本区（湯村浩和区長）では7月18日、地域の環境美化を図るため、海岸付近を中心とした樹木の剪定やごみ拾いなどを行いました。同日は区民43人が参加、海岸沿いの緑地帯や30m道路の植樹帯の剪定と区内のごみ拾いを行い、ごみ袋約80袋のごみを回収しました。強い日差しの中でしたが、参加した区民の協力により多くのごみを回収できたことで、地域の景観を守り、住みやすい地域づくりを実施することができました。

湯村区長は「下本区の美しい自然を残すため、区民の皆さんには協力していただき、感謝しています」と話していました。

新山区　夏祭り

生演奏を披露する吹奏楽団

新山区（島永邦生区長）では7月24日、新山区民の親睦を図ることを目的として、新山下墓跡地で新山区夏祭りを開催しました。当日は、祇園祭と同日開催ということもあり、多くの区民が参加して子ども会、婦人会の踊りやラムネ・ビールの早飲み大会、吹奏楽団の生演奏など様々な催し物が行われました。

祭りの最後にはお楽しみ大抽選会が行われ、多くの景品に参加者は一喜一憂しました。島永区長は「色々な出し物があり、大いに盛り上がって大変にぎやかな夏祭りとなりました。」と話していました。

松原区　夏祭り「加藤神社夜灯」

金魚すくいを楽しむ参加者

松原区（松浦國勝区長）では8月1日、区内において松原区夏まつり「加藤神社夜灯」を開催しました。会場では、金魚すくいやヨーヨーすくいのほか、バーベキューなどが行われました。イベントでは、ハンドベルとオカリナによる演奏会として、多くの曲が演奏され、参加した人は、その音色に聞き入っていました。

同日は、例年よりも参加者が増え、多くの人が参加した夏の夜祭は、大いに盛り上がり、松浦区長は「たくさんの人に参加してもらい、うれしく思います。協力してくれた皆さんに感謝します」と話していました。

東荒神区　「第10回七夕まつり」

「花笠音頭」を踊る小学3、4年生の子どもたち

東荒神区（塩山和春区長）では8月7日、中道児童公園において「第10回七夕まつり」を開催しました。同日は多くの住民が参加し、小学3、4年生による「花笠音頭」や5、6年生による「よさこいソーラン」、専修大学付属玉名高等学校のダンス部による創作ダンスの披露など、たくさんのプログラムが行われ、まつりの最後にはお楽しみ抽選会もあり、多くの商品が準備された会場は大いに盛り上がりました。

また、区では今回、町の活力創出推進事業により、ステージを新たに整備したこともあり、塩山区長は「丈夫な舞台ができ、皆さんに協力してもらって大変良い祭りとなりました」と話していました。

出町区・新町区　夏祭り「観音夜燈」

燈ろうにより幻想的な雰囲気となった出町区の通り

出町区（鹿本隆彦区長）と新町区（和田講一区長）では8月17日、出町区内の公民館周辺において「観音夜燈」を開催しました。同日は、親子連れなど多くの地域住民が集まり、ヨーヨー釣りや金魚すくいなど多くの出し物を楽しんでいました。

また、夜になると区内にある観音祠を中心として、ペットボトルを加工して作った燈ろうが通り沿いに並べられ、一斉に明かりがつけられると、一面幻想的な雰囲気となり、参加した人を魅了していました。

鹿本区長は「多くの人が参加し、盛大に開催することができました。地域住民のご協力に感謝します」と話していました。